

知床の森から



平成22年7月 第126号

知床森林センター広報誌

北海道森林管理局 知床森林センター

〒099-4355 北海道斜里郡斜里町ウトロ東(国設知床野営場内)

電話 0152-24-3466 FAX 0152-24-3477

ホームページ <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/index.html>



■写真:イベント参加者の作品 ①水鏡 ②羅臼岳
③食虫植物 ④沼に写る羅臼岳 ⑤28年ぶり

第100回 森林レクリエーションin知床

【知床世界遺産登録5周年記念】

「羅臼湖三の沼森林散策とデジカメ撮影」



7月14日(水)に、第100回森林レクリエーションin知床「羅臼湖三の沼森林散策とデジカメ撮影」を開催しました。羅臼岳の麓に広がる高層湿原。いくつも沼が存在する中にある神秘の湖「羅臼湖」。今回は羅臼湖までの散策路にある「一の沼」「二の沼」「三の沼」をデジタルカメラで撮影しながら散策しました。三の沼は羅臼岳が沼面に映り込む一番景色のきれいな場所です。

当日は青空こそ見えませんが、数日降り続いた雨もあり、無事イベント開催を迎えることができました。散策前に地元アマチュアカメラマンによる、デジカメ撮影のポイントについてレクチャーを受け、その後羅臼湖三の沼へ出発。知床峠で羅臼岳をバックに記念撮影。羅臼側は厚い雲海が広がり、国後島チャチャ岳がぼんやり浮かび神秘的な景色が広がっていました。

散策路は前日までの雨で、かなりの悪路となっており、途中でのデジカメ撮影はなかなか難しい状況でしたが、職員による自然解説を聞きながら、一生懸命三の沼までの道を進んで行きました。その甲斐あって、三の沼では透明な沼面に逆さ羅臼がくっきりと映っていました。三の沼には、ツルコケモモ、ミツガシワ等をはじめとした湿性植物が可憐な花を咲かせており、青色に輝くルリイトンボもたくさん飛んでいました。参加者の皆様はそのような景色を前に、ここぞとばかりに写真撮影をされていました。

散策後は森林センターに戻り、本日撮った写真からお気に入りの一枚を選択。プリントし、タイトルを付け、鑑賞会を行いました。作品は力作揃いで、参加者の皆様も満足していただき、良い散策&撮影会となりました。



知床世界自然遺産5周年記念行事レポート

本年7月17日、知床が世界自然遺産に登録されちょうど5年目を迎えました。これを記念して、各地で登録記念イベントが開催されており、当センターでも「【知床世界遺産登録5周年記念】羅臼湖三の沼森林散策とデジカメ撮影」をはじめ5周年記念を冠したイベントを各種開催しています。主催イベントの他に、各地で行われる記念行事にも参加し知床の魅力や森林づくり活動をPRしていますので、そのいくつかをご紹介します。

知床世界自然遺産登録5周年記念 リレーセミナー

知床の森に棲む動物たち — もっと知りたい守りたい、大自然しれとこ。 —



知床世界自然遺産登録記念日である7月17日（土）、「世界自然遺産登録5周年記念リレーセミナー」を開催しました。第一部は北海道の主催により知床世界遺産センターにて5周年記念式典に引き続き行われ、その後会場を知床ボランティア活動施設に移し、第二部として当センター主催による「知床の森に棲む動物たち — もっと知りたい守りたい、大自然しれとこ。 —」を開催しました。



第二部では、センター職員による絵本読み語り「知床の森のつぶやき」で、知床の森に棲む鳥や動物たち、木々の会話を楽しんでいただき、その後、(財)知床財団事務局次長の増田泰さんによる「知床の森に棲む動物たち」と題した講演を行いました。講演では、知床の一年を通しての森の変化や、普段は見ることの出来ない様々な動物たちの行動をわかりやすくお話しいただき、参加された皆様には知床の自然を楽しく理解していただけたのではないかと思います。



横浜で世界遺産登録5周年イベントが行われました

～首都圏で知床をPR～

2010 国際生物多様性年

知床世界自然遺産登録5周年記念シンポジウム



6月12（土）、13日（日）、横浜ランドマークプラザにおいて、知床世界自然遺産登録5周年記念シンポジウムが開催されました。12日は「知床の5年間の歩みと未来」というテーマで、知床世界自然遺産地域科学委員会委員長と各WGの座長の先生方、地元両町長によるディスカッションが行われました。13日には「知床から小笠原へ世界自然遺産の順応的な保全管理」というテーマで、知床、屋久島、白神山地の世界遺産地域のほか、遺産登録を目指す小笠原諸島を含めた各科学委員会の委員長等によるパネルディスカッションが行われました。

当センターでは会場ロビーにて、「森林を護る」「森林を育てる」「森林を知り学ぶ」と題したパネルを展示するとともに、世界自然遺産をわかりやすく解説したワークブックや森林センターオリジナルのコスター等を配布し、知床における国民参加の森林づくり活動の取り組み等を紹介、PRしました。当日は、何度も知床を訪れたことのある人から、知床を全く知らない人まで、多くの方々にご来場いただき、首都圏の方々にも知床の自然の価値やすばらしさを伝え感じていただくことができました。



▲ 人気のオリジナルコスター。知床に想いをはせながら使って下さい！

幻の沼「ポンホロ沼」周辺の森林散策とシイタケほだ木作り

6月12日（土）に、第99回森林レクリエーションin知床「幻の沼「ポンホロ沼」周辺の森林散策とシイタケほだ木作り」を開催しました。今回は定員の約3倍の応募があり、北見、網走、斜里だけではなく、釧路や帯広などから5歳～70歳代の方々にご参加いただきました。

午前中は、この時期にしか見ることができないポンホロ沼を目的地に、2時間の森林散策を行いました。暑い日が続いていたため沼の水量がやや減っていましたが、当日は沼の水面に映る美しい羅臼岳を見ることができました。また、職員の解説とともにミズナラの大木やトドマツの天然更新などを観察し、ポンホロ沼周辺の森林の瑞々しさを感じていただきました。

午後はシイタケのほだ木を作るため、1mの原木を半分に切るところから椎茸の駒菌を打つところまでを体験しました。最初は鋸やドリルを使った作業に抵抗のある方もいましたが、実際始めてみると楽しかったとの感想が聞けました。ほだ木完成後も、ほだ木の保存方法やシイタケ収穫時期について意欲的に話を聞いてくださった様子が印象的でした。



ウトロ小学校三年生が森林センターを訪問！

7月1日（木）ウトロ小学校の三年生の皆さん4名が社会科の町探検計画という授業で、森林センターに来ました。「自分たちが住む地域の産業や様子などについて調べる」という目的のもと、森林センターについての質問や施設内探検等の調査を熱心に取り組みました。調査後、センターに来てくれた記念に、木工による名札や笛作りを行いました。笛作りでは、ノコギリや電気ドリルを使ったため、最初はおそるおそるでしたが、皆さん器用に使いこなし、立派な笛を完成させていました。

後日、お礼の手紙と写真を先生が持参くださり、学校でもセンターの解説や木工が話題になっていること、名札や笛を得意げに話していることを知りました。またのご来訪をお待ちしております！



「アッカムイの森 どんぐり里親プロジェクト」

6月13日（日）に遊々の森「アッカムイの森」でNPO法人知床自然学校主催による「どんぐり里親プロジェクト」が開催され、当センターは植樹指導で協力しました。

どんぐり里親プロジェクトは昨年からは実施しているもので、知床のどんぐりを道内外の方々にて育ててもらい、育った苗木を知床に送り返してもらい、植樹するというものです。

昨年からは始めたプロジェクトなので、まだ苗木が帰ってきていないことから、地元産のシラカバ、ハルニレ、知床自然学校が育てたミズナラを植樹しました。

当日は、天候に恵まれ斜里町内外から65名の参加者が集まり、慣れないスコップなどに悪戦苦闘しながら植樹しました。

参加した子どもたちは、初めての植樹を大変楽しそうに行っていました。



知床 は今

7月17日、知床は世界自然遺産登録5周年を迎えました。記念式典や各種イベント、セミナーなどが行われ、また、今後も予定されています。

当センターにおいても、「羅臼湖三の沼森林散策とデジカメ撮影」や「5周年記念リレーセミナー（第二部）」を主催し、多くの方々に知床の自然のすばらしさや森に棲む動物たちの生態などについて、わかりやすく解説してきました。

知床の自然、とりわけ陸域や海域の多様な生態系が評価されての世界遺産ですから、これを将来にわたって保全していくためには、斜里町・羅臼町、地域住民などが中心となった取組だけでは困難窮まりなく、私たち林野庁を含む行政や各分野における知見を有する科学者、何よりも知床を訪れる観光客にも保全の取組への協力が求められるところです。

登録から5年、適正利用・エコツーリズム検討会議も発足したばかりです。私たちは知床の適正な利用に向けて、歩み出したばかりであることを十分認識しなければならないと思います。（ヒ）



森林ボランティア活動施設から

本格的な夏を迎え、隣接する国設知床野営場のお客さんも増え始め、だんだんと賑やかになってきました。これから夏休みということもあり、ボランティア活動施設では、7月17日～8月31日まで「夏休み子ども木工作体験期間」として、毎日木工作体験を受け付けています。

木工作キットや木の枝や端材、ドングリやクルミなどの木の実を使ってオリジナルの作品を作ってみませんか？また、8月22日までは朝9時～18時まで、定休日なしでオープンしていますので「天気が悪くて行く所がない」とか「キャンプに来たけどご飯まで暇だー」というときなど、もちろん「木工作をするために！」という方も、お気軽にお越し下さい。

その他、夏休み期間中、親子森林教室の開催や、第100回森林レクリエーションin知床「羅臼湖三の沼森林散策とデジカメ撮影」の参加者が撮影した写真の展示を行っています。どの作品も力作揃いですので、ぜひご来館、ご鑑賞下さい。（サ）



8～9月のイベントのお知らせ

詳しくは知床森林センターHPかお電話でご確認下さい。

実施月日	イベント名	場所・定員	申し込み期間等
8月4日(水)	【夏休み企画】 森の恵みとふれあう木工作教室	知床ボランティア活動施設 定員30名(先着)	7月30日まで お電話でお申し込み下さい
9月4日(土)	樹木医と歩く知床の森林 (変更の場合あり)	オシンコシン周辺国有林 定員40名	未定 (HPにてお知らせします)

その他のお知らせ

- 5/21～23 オホーツク木のフェスティバル（北見市）にブース出展しました。
- 7/31 水のがっこう夏まつり2010（斜里町）にブース出展します。
- 9/26 しれとこ産業祭り（斜里町）にブース出展します。

☆ 知床森林センターホームページ。「ブログ・知床の四季」では旬な知床情報をお届けしています！
→ <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/index.html>



この広報誌は道産間伐材を使用しています。